



「日本語教育の参照枠」を活用した 教育モデル（就労）応用研修

自分の教育現場における
就労分野の教育モデルの応用を考えよう

受講者募集

参加費
無料

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）は、令和4～5年度にかけて、文化庁委託事業において、「日本語教育の参照枠」を活用した就労の教育モデルを開発しました。本年度では、開発した教育モデルの普及を目的とした、現職日本語教師向けの研修を実施します。ぜひご応募ください。



応募資格

以下のすべての条件を満たす方

- ① 就労者に対する日本語教師初任者研修修了以上、またはそれ相当の資質・能力が認められる方。
- ② 就労者に対する日本語教育を実施する教育機関等でカリキュラム編成を行っている、または将来行う意欲が認められる方。
- ③ オンライン研修にすべて参加でき、オンデマンド学習及び課題に取り組む時間が取れる方。

定員

16名

研修場所

Zoom、e-learningシステムを使用したオンラインコースです。

申込方法

以下のURLまたはQRコードから本研修内容をよくご確認のうえ、ご応募ください。

締め切り：2024年 7月 15日(月)

応募多数の場合、早期に応募を締め切らせていただく場合がございます。JICEホームページ<お知らせ>内に詳細を掲載しています。

<https://www.jice.org/info/2024/06/post-327.html>

締め切り後、電子メールにて受講の可否をお知らせします。



問い合わせ先



一般財団法人日本国際協力センター（JICE・ジャイス）

多文化共生事業部

「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発・普及事業担当

〒163-0716

東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル16階

電話：03-6838-2736

[お問い合わせフォーム（多文化共生・日本語）](#)

研修内容

- ① 「日本語教育の参照枠」とその活用に関する基本的な知識
- ② 就労分野の教育モデル
(カリキュラム編成のプロセス、カリキュラムに沿った教材・学習活動・評価ツール等の作成)
- ③ 本研修での学びを各教育機関での共有・応用に向けたアクションプランの作成・意見交換

オンデマンド学習
事前課題



同期型研修
(ワークショップなど)

※事前課題と同期型研修を組み合わせた反転授業形式の研修です

研修日程

回	実施形態	日程	内容	講師
1	オンデマンド学習 事前課題	7月下旬	・オリエンテーション ・自身の振り返り ・「日本語教育参照枠」の理解	JICE 主任日本語講師 福島青史教授 (早稲田大学大学院)
	同期型研修	8月9日(金) 18:30-21:30		
2	オンデマンド学習 事前課題	8月10日~	・就労分野の教育モデルの理解	JICE 主任日本語講師
	同期型研修	8月30日(金) 18:30-21:30		
3	オンデマンド学習 事前課題	8月31日~	・カリキュラム編成	JICE 主任日本語講師 衣川隆生教授 (日本女子大学)
	同期型研修	9月20日(金) 18:30-21:30		
4	オンデマンド学習 事前課題	9月21日~	・学習活動・評価	JICE 主任日本語講師 衣川隆生教授 (日本女子大学)
	同期型研修	10月11日(金) 18:30-21:30		
5	オンデマンド学習 事前課題	10月12日~	・教育現場での共有に向けたアクションプラン	JICE 主任日本語講師
	同期型研修	11月1日(金) 18:30-21:30		
後	2024年12月~2025年1月 アクションプランの結果報告			

- ※上記の時間は休憩時間を含みます。
- ※同期型第1回にて研修のオリエンテーションを行います。
- ※オンデマンド学習は回によっては、ない場合もあります。
- ※研修内容は変更になる可能性があります。